

研究課題名	「TACO（輸血関連循環過負荷）の実態調査」
研究機関名	一般社団法人 日本輸血・細胞治療学会
研究責任者	研究代表者 東京医科大学八王子医療センター 臨床検査医学科 准教授 田中 朝志
研究期間	審査承認日～2019年2月28日
研究の意義・目的	TACO（輸血関連循環過負荷）は米国、英国で輸血関連死亡の上位を占める有害事象である。しかし、日本ではTRALI（輸血関連急性肺障害）との鑑別が未だに不十分である。TACOの病態は輸血により循環系への負荷に基づく心不全の他に何らかの炎症メディエーターの関与も示唆されていて、心・腎・肺機能の低下している高齢者で発症のリスクが高まると予想される。今後高齢化がさらに進み、また在宅を含む小規模医療施設での輸血の増加が見込まれる。そのため発症頻度をはじめとした日本でのTACOの実態調査を行うことは意義があると考えられる。本研究では日本でのTACOの実態を明らかにし、早期発見に有用な項目について検討する。また諸外国での発症状況と比較し、啓発のための基礎資料を作成する。
研究の方法 (対象期間含む)	2016年1月～12月の一年間に参加施設において発生したTACO症例、および輸血中に30mmHg以上の血圧上昇を示した症例を後方視的に調査を行う、観察研究である。施設基本情報として輸血実施患者数、輸血使用量、TACOの症例数、血圧上昇した症例数等の情報を収集する。TACOまたは血圧上昇をきたした症例に関しては年代、体重、リスク因子、基礎疾患、合併症、転帰、原因となった輸血製剤の種類と量、治療法、バイタルサイン等の情報を提供する。TACOおよび血圧上昇の発生率、TACOの早期診断に有用な項目、TACOとの関連性が高い因子について算出する。2017年7月15日～2018年12月31日まで登録・調査を行い、2018年8月1日～2019年2月28日までデータを解析する。
①試料・情報の利用目的及び利用方法（匿名加工する場合や他機関へ提供される場合はその方法含む） ②利用し、又は提供する試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	①得られた情報は調査票に必要な項目のみ記入され研究代表者に郵送で提供される。②患者の年代、基礎疾患、血液検査データ、輸血中の経過、転帰等の情報③研究代表者：東京医科大学八王子医療センター 臨床検査医学科 准教授 田中朝志、分担研究者：東京医科大学八王子医療センター 輸血部 主査 嘉成孝志、分担研究者：東京医科大学八王子医療センター 輸血部 臨床検査技師 鎌倉文紘、分担研究者：自治医科大学付属病院 輸血・細胞移植部 教授 室井一男、分担研究者：浜松医科大学病院 輸血・細胞治療部 教授 竹下明裕、分担研究者：筑波大学医学部附属病院 血液内科 病院教授 長谷川雄一、分担研究者：群馬大学医学部附属病院 血液内科 診療教授 横濱章彦、分担研究者：自治医科大学付属病院 血液科 講師 藤原慎一郎、分担研究者：大阪市立大学医学部附属病院 輸血部 主査 藤野恵三、分担研究者：虎の門病院 輸血部 部長 牧野茂義、分担研究者：神鋼記念病院血液病センター 高密度無菌治療室 主任 松本真弓 ④研究代表者：東京医科大学八王子医療センター 臨床検査医学科 准教授 田中朝志、当院研究責任者：武蔵野赤十字病院 輸血部 部長 高野弥奈
問合せ先	〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 輸血部 氏名 高野弥奈  TEL：0422-32-3111（代表）